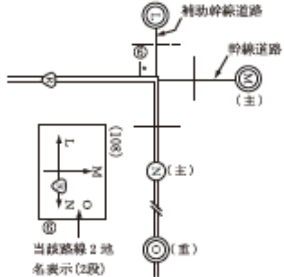
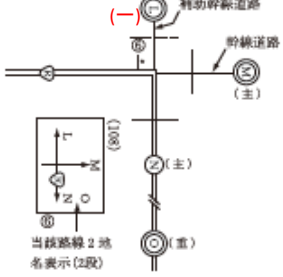




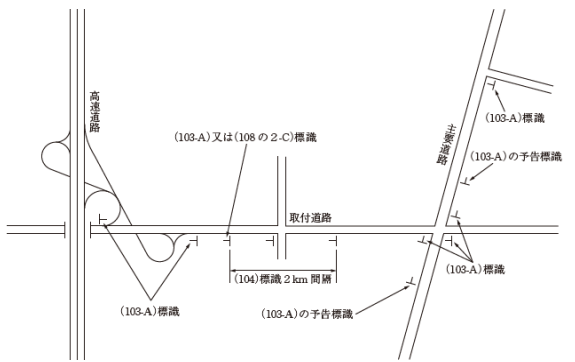
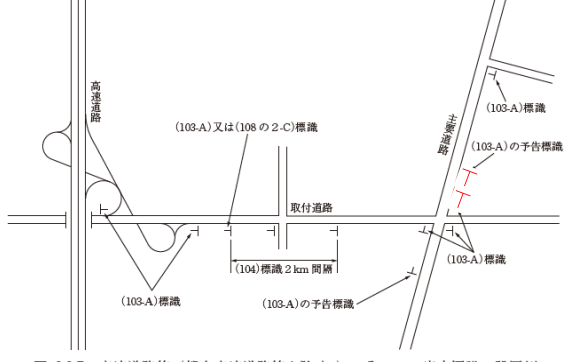


道路標識設置基準・同解説 令和2年6月 正誤表

R2.7

ページなど	誤	正	備考	摘要
p23	「案内標識の表示地名に関する基準(案)平成17年(2005年)8月国都第28号 国道企第20号」に	「案内標識の表示地名に関する基準(案)平成17年(2005年)8月国都街第28号 国道企第20号」に	誤記	第2刷で修正予定
p26	 <p>図-2.3.1 目標地の選定の例</p>	 <p>図-2.3.1 目標地の選定の例</p>	目標地Lの一般地の記号(-)を追加	第2刷で修正予定
p29	凡例 A:主要地等	凡例 C,D,G:主要地等	誤記 図の中にAは無くCDGが記載	第2刷で修正予定
P129	 <p>図-3.2.44 交差道路番号</p>	 <p>図-3.2.44 交差道路番号</p>	都道府県道の主要地方道と一般道のレイアウトが逆	第2刷で修正予定
P136	 <p>距離・区間 (501)</p>	 <p>距離・区域 (501)</p>	誤記	第2刷で修正予定

ページなど	誤	正	備考	摘要
P199	 <p>図-3.3.7 高速道路等（都市高速道路等を除く。）の入口への案内標識の設置例</p>	 <p>図-3.3.7 高速道路等（都市高速道路等を除く。）の入口への案内標識の設置例</p>	<p>標識の記号の向きが異なる</p>	<p>第2刷で修正予定</p>
P224	<p>3.8m超案内標識(118の4-D)は、出口の予告標識(109)、方面及び出口の予告標識(110-A,B)等、ならびに、方面及び出口標識(112-A,B、113-A,B)に併設することを基本とする。</p> <p>出口分岐地点においては、3.8m超案内標識(118の4-D)に方向を示す補助標識を附置する。</p>	<p>3.8m超案内標識(118の5-D)は、出口の予告標識(109)、方面及び出口の予告標識(110-A,B)等、ならびに、方面及び出口標識(112-A,B、113-A,B)に併設することを基本とする。</p> <p>出口分岐地点においては、3.8m超案内標識(118の5-D)に方向を示す補助標識を附置する。</p>	<p>流用資料時点から番号変更</p>	<p>第2刷で修正予定</p>
P225	<p>分岐地点において、3.8m超案内標識(118の4-D)に方向を示す補助標識を附置する。当該標識は、方面及び方向標識(108の2-E)に併設することを基本とする。</p> <p>出口分岐地点において、3.8m超案内標識(118の4-C)に(直進)方向を示す補助標識を附置する。当該標識は、方面及び出口標識(112-A,B)に併設することを基本とする。</p>	<p>分岐地点において、3.8m超案内標識(118の5-D)に方向を示す補助標識を附置する。当該標識は、方面及び方向標識(108の2-E)に併設することを基本とする。</p> <p>出口分岐地点において、3.8m超案内標識(118の5-C)に(直進)方向を示す補助標識を附置する。当該標識は、方面及び出口標識(112-A,B)に併設することを基本とする。</p>	<p>流用資料時点から番号変更</p>	<p>第2刷で修正予定</p>
P226	<p>3.8m超案内標識(118の4-D)は、ジャンクションの分岐予告案内標識、ならびに分岐案内標識に併設することを基本とする。</p> <p>ジャンクション分岐地点においては、3.8m超案内標識(118の4-D)に方向を示す補助標識を附置する。</p>	<p>3.8m超案内標識(118の5-D)は、ジャンクションの分岐予告案内標識、ならびに分岐案内標識に併設することを基本とする。</p> <p>ジャンクション分岐地点においては、3.8m超案内標識(118の5-D)に方向を示す補助標識を附置する。</p>	<p>流用資料時点から番号変更</p>	<p>第2刷で修正予定</p>

道路標識設置基準・同解説 令和2年6月 正誤表

R2.7

ページなど	誤	正	備考	摘要
P236	図-3.3.52 「サービス・エリア及び道の駅の予告(116の2-C)」	図-3.3.52 「サービス・エリア、道の駅の予告(116の2-C)」	誤記	第2刷で修正予定
P238	3)照明 「サービス・エリア、道の駅の予告(116の2-A)」	3)照明 「サービス・エリア、道の駅の予告(116の2-C)」	誤記	第2刷で修正予定
P265	この標識は都市高速道路等の本線上に料金徴収所がある場合及び出口に料金徴収所がある場合、その手前300m付近の車道上方に、  1,600×3,200 図-3.4.27 料金徴収所 (115)	この標識は都市高速道路等の本線上に料金徴収所がある場合及び出口に料金徴収所がある場合、その手前300m付近の車道上方に、  1,600×3,200 図-3.4.27 料金徴収所 (115)	本文では300m付近と説明している ので1kmから300mに修正	第2刷で修正予定
P268	「サービス・エリア、道の駅及び距離(116)」(P231 図-3.3.46参照)には	「サービス・エリア、道の駅及び距離(116)」(P233 図-3.3.45参照)には	ページ番号と図番ずれ	第2刷で修正予定
P292	③ 幹線道路で交通事故を防止するために、速度抑止を目的に道路を凹凸を設けた場合に設置するとよい。	③ 幹線道路で交通事故を防止するために、速度抑止を目的に道路に凹凸を設けた場合に設置するとよい。	誤記	第2刷で修正予定
巻末折込	(116の2-C) サービス・エリア、道の駅 	(116の2-C) サービス・エリア、道の駅の予告 	道の駅の予告 漏れ	第2刷で修正予定